

令和元年度(2019年度)

管理事業名	文化財保護事業				総合計画の体系	大綱 7 政策 2 施策 2	都市魅力 文化・スポーツに親しめるまちづくり 文化財の保存と活用
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 10	教育費	(項) 5	社会教育費	(目) 8	文化財保護費
部局名	地域教育部	予算執行所属	文化財保護課				
予算大事業名 文化財保護事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名 (款)教育費(項)社会教育費(目)旧西尾家住宅大規模修繕基金積立金 文化財保護事業						
事業の目的と概要 文化財調査事業 埋蔵文化財の発掘調査を行い、出土した遺物等の整理作業を行い、報告書等の作成を行います。有形文化財等市内に所在する文化財の調査を行います。 文化財保存啓発事業 文化財調査の成果をまとめ、報告書を作成します。教育委員会で管理する史跡等の管理に努め、文化財の保存・活用等の啓発をはかります。また、文化財の保存と活用をはかるため、指定・登録文化財の所有者等に補助金を支出します。 吹田学事始め事業 地域の身近な文化財の調査を行い、その成果をまとめます。 旧西尾家住宅(吹田文化創造交流館)保存活用事業 歴史的・文化的価値が高い建物の保存と文化財としての価値や味わいを生かした活用をはかります。 旧中西家住宅(吹田吉志都文人墨客迎賓館)保存活用事業 旧中西家住宅の保存・公開並びに調査・研究・活用をはかります。							

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	成果指標の定義
施設入館者数	人	6,722	1,583	1,927	施設が主催する事業の参加人数及び入館者数
旧西尾家住宅		4,531	834	49	
旧中西家住宅		2,191	749	1,878	
開発工事等に伴う埋蔵文化財等調査件数	件	115	96	95	開発工事等に伴う埋蔵文化財調査・立会及び文化財調査件数
成果の説明	旧西尾家住宅は、平成30年6月18日に発生した大阪府北部地震と9月4日の台風21号による被害のため、令和元年11月2日まで臨時休館したことから、前年度に比して大幅に入館者数が減少しました。 開発工事等に伴う埋蔵文化財等調査件数については埋蔵文化財の発掘調査、工事時の埋蔵文化財の立会、市内に所在する有形文化財等の調査の合計件数で、年間約100件前後ありますが、近年発掘調査では1件当たりの面積が増える傾向にあります。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	9,211	1,278	1,000	△278
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	118	5,028	4,910
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	245	109	130	20
経常収入 小計(a)	9,456	1,505	6,158	4,652
給与関係費	88,925	88,508	83,323	△5,185
物件費	33,498	20,227	31,169	10,943
維持補修費	1,864	1,246	4,993	3,747
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	6,385	3,772	2,221	△1,550
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	25	23	-	△23
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	5,639	5,878	5,435	△443
退職手当引当金繰入額	12,352	5,065	△265	△5,330
支払利息	0	0	0	0
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	148,689	124,719	126,877	2,158
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△139,233	△123,213	△120,719	2,494
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	122,718	-	-	-
特別収入 小計(d)	122,718	-	-	-
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	16,987	-	△16,987
特別支出 小計(e)	-	16,987	-	△16,987
特別収支差額(d)-(e)=(f)	122,718	△16,987	-	16,987
一般財源調整額(g)	-	△0	-	0
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△16,514	△140,201	△120,719	19,811
一般財源充当額	132,248	127,874	128,003	129
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	115,734	△12,327	7,283	19,610

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
寄附金	旧西尾家住宅大規模修繕基金積立金の増 5,003千円
物件費	主に旧中西家住宅耐震診断業務(6,656千円)と旧西尾家住宅鉄筋コンクリート塀修理実施設計業務(3,900千円)の増
維持補修費	主に旧中西家住宅瓦修繕の増 3,542千円

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	9,456	1,505	6,158	4,652
行政サービス活動支出	141,679	142,656	132,657	△9,998
行政サービス活動収支差額	△132,223	△141,150	△126,500	14,651
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	5,003	5,003
投資活動収支差額	-	-	△5,003	△5,003
財務活動収入	-	13,300	3,500	△9,800
財務活動支出	26	24	-	△24
財務活動収支差額	△26	13,276	3,500	△9,776
収支差額 合計	△132,248	△127,874	△128,003	△129
一般財源充当額	132,248	127,874	128,003	129
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	特徴的な事項
(行政サービス活動収入)埋蔵文化財緊急発掘調査等費1,000千円、指定寄付金5,028千円、資料図録等有料頒布代ほか130千円(財務活動収入)文化財保存事業債3,500千円、旧中西家住宅災害復旧事業債の減13,300千円	

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
入館者1人当たりのコスト	平成29年度	6,722 人	9,298 円	平成30年の大阪府北部地震と台風21号により被害を受け、旧西尾家住宅は令和元年11月2日まで休館し、入館者数が減少しましたが、旧中西家住宅は平成31年4月1日から再開したため、前年に比べ入館者が増加し、単位あたりコストが減少しました。(各経常費用31,110千円、25,358千円の合計56,468千円を入館者数で割って算出)
	平成30年度	1,583 人	31,045 円	
	令和元年度	1,927 人	29,304 円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成30年度末 A	令和元年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成30年度末 A	令和元年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	5,878	6,913	1,035
未収金	-	-	-	地方債	-	1,478	1,478
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	5,878	5,435	△443
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
事業用資産	913,320	913,320	-	固定負債	73,125	69,809	△3,315
有形固定資産	913,320	913,320	-	地方債	13,300	15,322	2,022
土地	913,320	913,320	-	長期借入金	-	-	-
建物・工作物	0	0	-	退職手当引当金	59,825	54,487	△5,337
リース資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
無形固定資産	151	151	-	負債の部合計	79,002	76,722	△2,280
インフラ資産	-	-	-	純資産	834,469	841,752	7,283
有形固定資産	-	-	-	重要物品	-	-	-
土地	-	-	-	図書館資料	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	投資その他の資産	-	5,003	5,003
建設仮勘定	-	-	-	出資金	-	-	-
重要物品	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
図書館資料	-	-	-	基金	-	5,003	5,003
投資その他の資産	-	5,003	5,003	徴収不能引当金	-	-	-
出資金	-	-	-	その他債権	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	資産の部合計	913,471	918,474	5,003
基金	-	5,003	5,003				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
負債及び純資産の部合計	913,471	918,474	5,003				

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

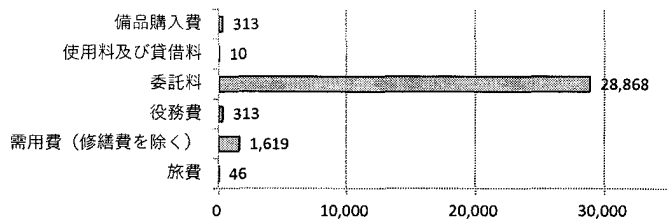
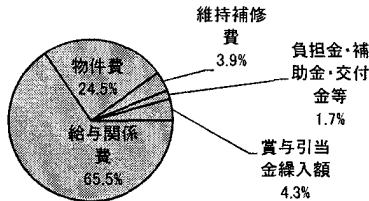
事業従事人数	常勤・再任用	非常勤	臨時雇員	審議会委員等	合計(千円)
	月平均	月平均	年間従事延日数	実人数	
	8.75人	6人	833日	10人	88,493
給与関係費等	69,012千円	14,946千円	4,535千円		
内、時間外勤務手当	683千円				

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
地方債	文化財保存事業債 3,500千円
基金	旧西尾家住宅大規模修繕基金積立金 5,003千円

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽分析指標

分析指標	年度	(単位:%)		
		平成29年度	平成30年度 A	令和元年度 B
受益者負担比率		-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-
一般財源充当比率		93.3	89.6	93.0
				3.4

▽その他特記事項

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

【貸借対照表】
文化財保護事業は、913,320千円(土地)の固定資産を有しています。
【行政コスト計算書】
経常費用は126,877千円であり、最も大きいのは給与関係費の83,323千円、次に大きいのは物件費31,169千円、次が賞与引当金繰入額5,435千円となっています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

旧西尾家住宅は、建物等は国指定重要文化財で、庭園は国登録記念物(名勝)であり、現在国所有で管理を吹田市が行っています。建物は明治26年(1893)～大正年間にかけて建築されたもので、これまで日常的に修繕を行ってききましたが、平成28年度から平成29年度にかけて耐震診断を実施した結果、大規模な解体修繕が必要と判断されました。その後、平成30年度に発生した大阪府北部地震及び台風21号により多大な被害を受けたことから、被害実態や令和元年度発足の旧西尾家住宅修理専門会議での検討結果を踏まえて、令和2年度以降11年をかけて実施予定の大規模修繕を行っていく必要があります。また、平成31年4月に旧西尾家住宅大規模修繕基金を設立しました。今後は広く基金への寄附を募り財源確保に努めます。
旧中西家住宅は、建物等は市指定有形文化財及び国登録有形文化財であり、庭園は国登録記念物(名勝)となっています。建物等は江戸時代後期～明治時代に建築されたものです。現在は日常的に修繕を行っていますが、新たに建物屋根・柱に損壊部分を確認されたのをはじめてとして、平成30年度に発生した大阪府北部地震及び台風21号により多大な被害を受けたことから、令和元年度に耐震診断を実施し、その結果を踏まえて将来的に大規模な解体修繕等を行うか検討していく必要があります。
埋蔵文化財の調査は大半が民間の開発に伴う緊急調査であり、調査の事業量全体の把握が困難です。また、大規模な開発も多く現在の人員体制ではその対応が難しくなっています。有形文化財等の調査は所有者等の協力が必要ですが、文化財に対する理解は高いとはいえ、継続して文化財保護の啓発を推進することが必要です。